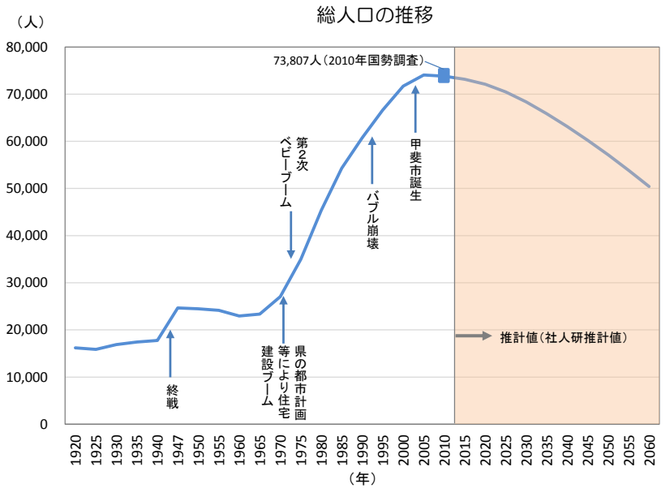
甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン　【概要版】

（1）人口ビジョンの位置づけ

人口の現状分析を行い、人口問題に対する基本認識を市民と共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

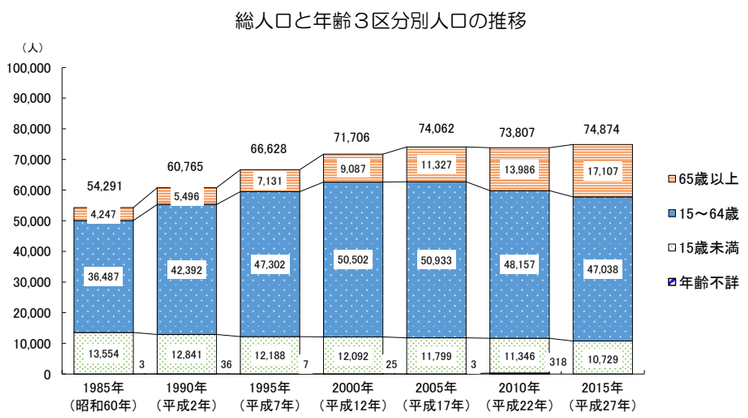
（2）甲斐市の総人口の推移

甲斐市の人口については、2005 年（平成 17 年）ごろまで増加してきましたが（国勢調査）、近年のほぼ横ばいの状況を経て、将来的には、人口減少が進んでいくことが推測されます。



（3）年齢３区分別人口の推移

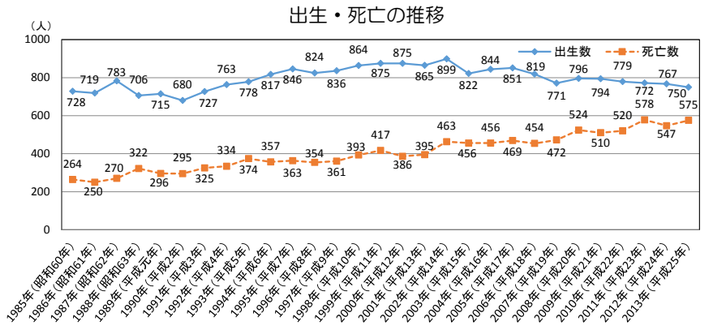
近年では、65 歳以上の老年人口は増加が続いているのに対し、15 歳未満の年少人口と、15～64 歳の生産年齢人口は減少が続いています。

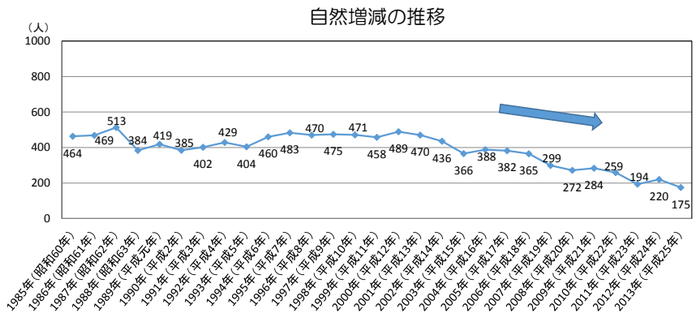


※昭和 60 年～平成 22 年は国勢調査、平成 27 年のみ住民基本台帳

（4）自然増減の推移

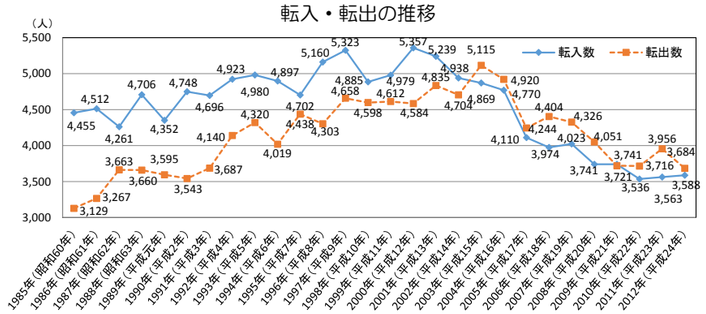
自然増減については、出生数が死亡数を上回る自然増ですが、死亡数が増加しているため全体的な傾向としては減少傾向です。

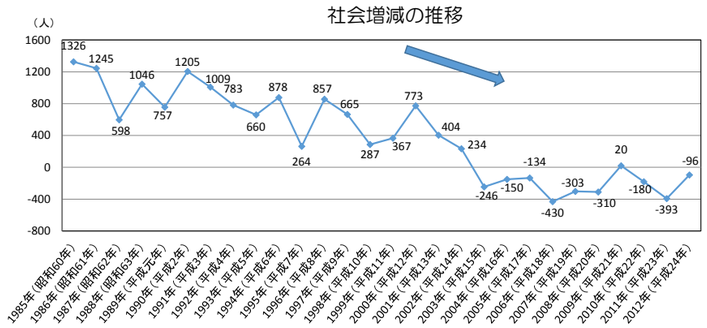


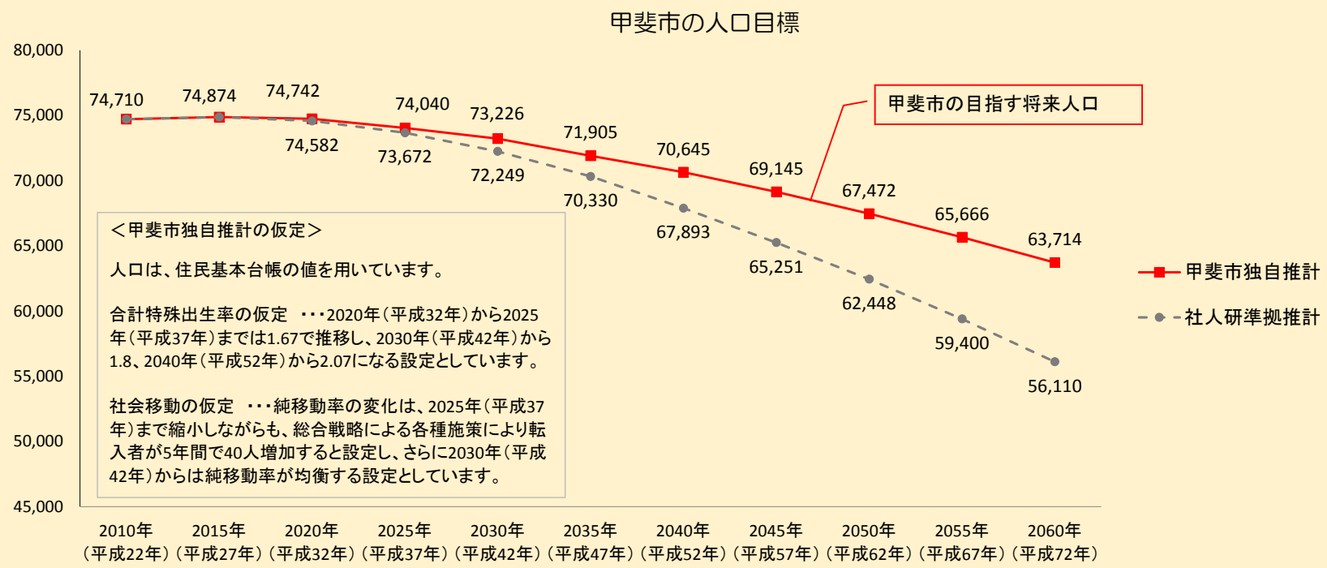


（5）社会増減の推移

1985 年(昭和 60 年)から 2002 年(平成 14 年)まで社会増でしたが、2003 年(平成 15 年)以降は社会減の状況が続いています。





（6）人口の将来展望

次世代育成のための包括的な支援や、産業振興、定住促進支援、活力あるまちづくりの推進などを通して、自然増、社会増となる取組を進め、2060 年(平成 72 年)において約 64,000 人の人口を維持する将来人口を目指します。